

秋田県立大学システム科学技術学部研究発表会 特別講演 「技術者とその役割」

講師 大橋秀雄（工学院大学理事長・東京大学名誉教授）

概要

誰でも確認し再現できる知識の体系－近代科学－がスタートしてからまだ三百年しか経っていない。しかし、ピラミッドと向き合い、大仏の前にたたずむものは、技術がまさに文明の根元にあって、人類の歴史と共に歩んできたことを再確認する。

科学と技術の違いは何か、さらに工学をどのように位置付けたらいいのか、歴史を辿り国際比較を交えながら考える。さらに、現代社会における技術が果たす役割と、それを担う技術者の責任を述べる。また国際的に通用する技術者を、基礎教育から生涯教育までどのように育成して行くか、現在の取り組みについても述べる。

経歴

1931年生まれ

1954年3月：東京大学工学部 機械工学科卒業。

1954年4月：石川島重工業 株式会社入社

1959年6月：石川島重工業株式会社退社

その間、1956年10月から1958年9月まで、旧西独 Braunschweig工科大学に留学、

1958年8月Dr.-Ingenieur の学位を授与される。

1959年7月：東京大学講師

1960年4月：東京大学助教授

1962年2月：東京大学より工学博士の学位を授与される。

1976年11月：東京大学教授。

1992年3月：東京大学定年退職 同4月東京大学名誉教授

1992年3月：工学院大学教授（～2003年3月退職）

1994年4月：工学院大学学長就任（～2003年3月退任）

2003年4月：工学院大学名誉教授

2003年4月：学校法人工学院大学理事長就任

受賞

日本機械学会賞論文賞（69，80，84，93年），ターボ機械協会論文賞（86年），

藍綬褒章（92年），紫綬褒章（97年），

通商産業大臣表彰（87年，工業標準化に対する貢献），

科学技術庁長官賞（95年，原子力安全に対する貢献）など

社会に対する貢献

通商産業省原子力発電技術顧問（1983-1999年）、同運転管理等顧問会会長（1995-1999年）、日

本学術会議会員（1991-2000年）、同第5部長（1997-2000年）、日本工学会会長（1999-現在）、

日本工学教育協会副会長（1998～現在）、

日本技術者認定機構副会長（1999～現在）日本工学アカデミー会員、中国機械工程学会名誉員